

しんじゅく 創業1丁目

新宿区立高田馬場創業支援センターニュースレター



SPECIAL

セミナーを開催 「ゼロからはじめる新しい事業の作り方」

当センター主催による創業セミナー「ゼロからはじめる新しい事業の作り方」を2016年3月19日(土)に開催しました。講師には株式会社小石川 代表取締役社長の広瀬眞之介氏をお招きしました。講座の様子をご紹介します。

セミナーの前半では、まず広瀬氏の紆余曲折のご経歴と事業経験からご紹介いただきました。また三井不動産(株)が運営するClip ニホンバシ



株式会社小石川 代表取締役社長 広瀬 眞之介氏

で、新規事業開発のコンサルタントとして関わられた「新しい事業」の事例も多数お話いただきました。「新しい事業に取り組んでいるのに、失敗をしていないということは、自分の経験値や実力の範囲に収まっている証拠であり、チャレンジをしていないに等しい」という失敗の価値に関するお話しが印象的でした。また、新規事業を成功させるためには、時間をかけ緻密なプランを練り上げるよりも、果敢にチャレンジして小さな失敗を繰り返しながら修正を重ねる「トライ&エラー」が大事だと強調されました。

後半では広瀬氏が考案されたカードゲームによるワークショップを行いました。参加者同士でグループになり、順番にカードを引いていきます。カードの種類により、社内リソースが強化され事業が成長したり、ライバルの出現や市場変化などの外部要因によって事業悪化を招いたりなど、事業を行う際に起こりうる様々な現象を体感して頂きました。「起業のノウハウやリスクを学べた」、「失敗を恐れないことの大切さを学んだ」など、参加者からはゲームを通じて理解が深まったという声が多く聞かれました。セミナー終了後は交流会を開催し、参加者同士や講師との交流を深めていただきました。



参加者同士でカードゲームを楽しむ様子
広瀬氏考案のカードゲーム「Let's Play Innovation」

NEWS

起業塾を開催 「Practice Fields (プラクティス・フィールズ)」

高田馬場創業支援センターでは、産業競争力強化法に基づく特定創業支援事業の創業支援セミナーとして「Practice Fields (プラクティス・フィールズ)」を全4日間(3月5日、12日、20日、27日)にわたり開催しました。

各日とも前半の第1部では「事業計画書作成体験型セミナー」として、義之税理士・社会保険労務士事務所の義之岳史氏と当センター施設長の田中健一朗から、創業に必要な知識や事業計画書の作成方法を話題提供しました。後半の第2部「トークセッション」では毎回ゲストをお招きし、創業から現在に至る過程を座談会形式でお話いただきました。受講者からは「創業に必要な幅広い知識が身についた」「経験者から夢を実現するための努力や苦労話が聞けて参考になった」と好評でした。



第1部 事業計画書作成体験型セミナーの様子

特定創業支援事業の創業支援セミナーは全4回受講することで、「経営」、「財務」、「人材育成」、「販路開拓」の基礎知識が身につく内容として企画しています。またセミナー受講後に新宿区が交付する証明書により、法人設立に必要な登録免許税の軽減、融資枠の拡大等の優遇措置が受けることが可能です。当センターでの次回開催は平成28年9月を予定しています。※特定創業支援事業の詳細については、新宿区のホームページをご覧ください

第2部 トークセッションのゲスト講師



有限会社ノト 代表取締役
宮脇 淳氏 (3月5日)



株式会社 meleap 取締役
新木 仁士氏 (3月12日)



株式会社クラフトマンソフトウェア
代表取締役 森 怜峰氏 (3月20日)



NPO 法人 StartupWeekend
理事長 李 東烈氏 (3月27日)

■創業のきっかけを教えてください。

学生のころから自立心が旺盛だったので、具体的ではありませんでしたが、いつかは独立したいという気持ちがあったように思います。最も大きなきっかけとなったのは、父親の死でした。経営者として事業の栄枯盛衰を間近で見せてくれていた父という大きな存在を失って、一度きりの人生なので、これからは自分の力でやってみようという気持ちが強くなりました。

特許業界で長年働いてきて、業界に精通している自分の強みを生かしながらできることを考えたとき、この業界に足りないものとして、Webとフリーペーパーのクロスメディア「PATENAVI（パテナビ）」を立ち上げようと思いつきました。

■事業内容について教えてください。

特許業界の活性化と人材の流動化を促進したいという思いがあります。毎月10日にフリーペーパー「PATENAVI」を発行し、特許業界を身近に感じてもらえるような情報を発信しています。4月号で第16号になりました。昨年末には「日本タウン誌・フリーペーパー大賞 優秀賞」も受賞しました。配架場所も増え、徐々に業界内に知名度が浸透してきて、いろいろな声がかかるようになってきています。広告主がつくようにもなりました。

「PATENAVI」と並行してイベント請負事業も行っています。別事業とはいえメディアや人材を扱うという点で「PATENAVI」の発展にもつながっていくものです。

前職の部下が共同創業者としてついて来てくれたので、二人三脚でやっています。お互いの長所を活かした仕事の役割分担やメンタルな面でのバランスが上手くとれていて、良いパートナーシップを築いています。

■当センターをご利用しての感想は？

大きなメリットとして、「人とのつながり」があります。センターに来れば同じ創業を志す仲間や職員に会え、さまざまな情報が得られます。立ち上げ時期は自分の事業に没頭し、限られた世界に埋没しがちですが、異業種の人と会うことでよい刺激を受けたり、仕事に結びつくインスピレーションが得られます。また固定費を抑えられることも有り難く思っています。

■今後の事業について教えてください。

資金も少なくゼロからのスタートで、すべてを自分たちだけでやってきているので時間はかかっていますが、着実に進んでいるという実感があります。今年の2月には株式会社を立ち上げました。特許業界に新風を吹き込む企画・アイデアは次々と浮かんでくるので、あとは「PATENAVI」の知名度や会社の信頼性を向上させて実現に向けて走っていきたいと思います。



Profile

栃木県出身。特許事務所を退職後に特許業界初のクロスメディア「PATENAVI（パテナビ）」を立ち上げる。2016年2月に株式会社パテナビを設立。共同創業者と共に特許業界の活性化に挑む。

<http://freepaper-patenavi.com>



特許業界初のフリーペーパーマガジン「PATENAVI」2016年4月号

新宿区立高田馬場創業支援センターのご案内

志を共有し、リスクを最小限に、利益を生む仕組みづくりを応援する伴走者として、起業・経営革新を全力でサポートします。

創業支援メニュー

- ・オフィススペースの提供
- ・各種相談（経営・戦略・資金・販促）
- ・コミュニティ連携の機会提供
- ・ビジネスコンビニ機能
- ・利用者交流会の開催

主な施設

- ・シェアードオフィス（10席）
 - ・個室オフィス（2室）
 - ・会議室兼商談室（18席）
 - ・交流スペース
 - ・相談室・資料スペース 等
- ※ 同建物内にございます。新宿消費生活センター分館の会議室（36名）、調理室兼商品テスト室もご利用（有料）になれます。

利用（入居）のご案内

ご利用にあたっては、必ず当センターの見学・利用相談を受けてください。そのうえで、必要書類をご提出いただき、事業計画の具体性、実現可能性等を審査し、承認された方に限りご利用いただけます。

■募集期間：募集は定員になり次第終了します。募集状況については当センターホームページ等でご確認ください。

■定員：32名

■利用期間：6カ月間 ※3回まで更新可、最長2年間

■開館日：年中無休 ※年末年始（12/29～1/3）を除く

■利用時間：8:30～24:00

お問い合わせ

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目32番10号

Tel 03-3205-3031 / Fax 03-3205-1007

Email incu@shinjuku-center.jp / URL <http://incu.shinjuku-center.jp>

お知らせ

施設利用者の募集について

新宿区立高田馬場創業支援センターは、新宿区内での創業もしくは創業間もない方又は経営改革を目指す方を支援する施設です。施設利用は随時受け付けています。

申込みを行なう前に、当センターにお越しいただき、必ず施設見学・利用相談をしていただいています。

詳細は、当センターホームページ (<http://incu.shinjuku-center.jp>) をご覧いただき、お気軽にご相談ください。

新宿区立高田馬場創業支援センター

ニュースレターしんじゅく創業1丁目

発行人：田中 健一郎 編集者：小林 由布子

発行No：第2016-028号 発行日：2016年4月30日（隔月発行）

指定管理者：有限会社そーはっと